■アルゼンチン：政府、アトーチャ 3 号機の建設計画を一時棚上げに

2018 年 5 月 18 日付の地元紙によると、同国政府は中国の協力で計画していた国内 4 基目となるアトーチャ原子力発電所の 3 号機（80 万 kW、カナダ型重水炉）の建設計画を、一時棚上げにすることを決定した。当初の計画では 2020 年から建設が開始される予定となっていた。今回、計画が棚上げとなった背景には、米国金利の利上げが 3%となった 2018 年 4 月 24 日以降、アルゼンチン通貨ペソが急落し、政府が政策金利の引き上げや国際通貨基金（IMF）への緊急支援を要請するなど緊急の対応を迫られる事態となっていたことがある。地元紙によると、アトーチャ 3 号機の建設棚上げは、5 月第 2 週に行われたアルゼンチンと中国の外相会談で決定が下されたとのこと。他方、この会談では将来に予定されているアトーチャ 4 号機の建設について、中国が独自開発した第 3 世代炉を採用することを改めて確認したとされる。